



青少年交流事業

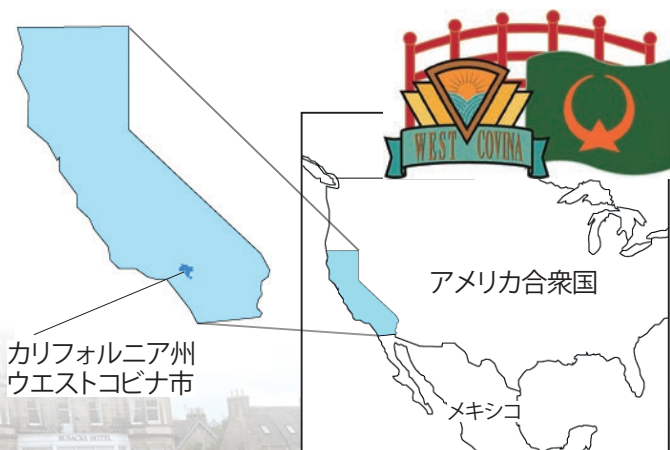
中学生交流事業

「中学生交流事業」は、国際性豊かな人材の育成を図るため、アメリカ合衆国の歴史・文化・生活習慣など体験を通して、多文化共生の意識づけと国際感覚を育み、また、郷土や社会に貢献し得る実践力と創造性に富む人づくりを目的として、市内の中学2年・3年生を対象に、姉妹都市であるウエストコビナ市へ派遣する事業です。

今年で12回実施されています。

ウエストコビナ市ってどんなところ

位置	アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス郡(ロサンゼルス市から東へ約30km)
人口	約11万人
気候	1年の平均気温は23℃前後で、穏やかな気候で過ごしやすい。
時差	マイナス17時間(夏時間はマイナス16時間)
面積	41.7km ²



● ウェストコビナ市との交流の経緯

黒羽町出身でアメリカのロサンゼルス近郊で活躍していたフランス料理人である佐藤了氏が故郷の子どもたちの国際理解を促進するために何か役に立ちたいとの思いから、中学生をホームステイで受け入れる交流事業を提案されたことにより、平成13年度から中学生交流事業が始まりました。

平成14年度には、黒羽町内の小中学生の英語指導助手(ALT)として、ロサンゼルス近郊の日系人の活動拠点である「東サンゲールバレー日系人コミュニティセンター(ESGVJCC)」のあるウエストコビナ市から2名のALTの受け入れが始まりました。平成16年度からは、ESGVJCCの日本語学校に通う生徒をホームステイとして受け入れるウエストコビナ市生徒交流事業が始まり、相互の交流事業に発展しました。

高校生交流事業

「高校生交流事業」は、将来の日本を担う青少年を海外に派遣し、異国の文化・生活など体験を通して豊かな人間性を育て国際社会の一員としての青少年の育成を図るとともに、外国の青少年を大田原市に迎え、本市での生活を通して日本の風習、文化を体験し日本に対する理解を深めてもらい、併せて受け入れ家庭や関係者等との交流を通じて国際親善を図ることを目的として、英国スコットランド・セントアンドリュースと高校生を相互に派遣する事業です。

この事業の始まりは、1975年(昭和50年)にニューセントアンドリュースゴルフクラブジャパン(NSAJ)というゴルフ場が市内に建設されたことをきっかけに、大田原市とセントアンドリュースの国際交流が始まりました。

今年で28年目を迎え、歴史のある事業です。

セントアンドリュースってどんなところ

位置	スコットランドのファイフにある都市で、北海に面している。
人口	約1万6千人
気候	1年の平均気温は9℃前後で、夏場は25℃を超えることはほとんどない。日本と比べると気温が低いですが、穏やかな気候で過ごしやすい。
通貨	£(ポンド)、P(ペンス)
時差	約9時間
	ゴルフ発祥の地として知られており、全英オープンが開催されるゴルフコースがあることでも有名。



大田原市での体験

7月28日(木)～

8月8日(月)の12日間

日本の文化を
体験し

ウェルカムパーティー



書道体験



座禅体験



武者行列に参加

日本を
知ってもらう



日光 華嚴の滝

セントアンドリュースでの体験

7月28日(木)～

8月9日(火)の13日間

異国の文化を
体験し

ゴルフの聖地

パター体験



オールドコース

スコットランド 最古の大学



セントアンドリュース大学



スコットランドを満喫

自分を大きく
成長させる



別れの時

今回のスコットランドへの派遣は、自分にとってすぐれたものになるものでした。もちろん言葉の壁や食習慣、生活習慣の違いなど戸惑うところもたくさんありましたが、そういうことも含めて日本にいてはできない体験をすることができ、とても有意義で充実した2週間を過ごすことができました。セントアンドリュース、ダンディー、エディンバラなどさまざまな場所へ観光に行きました。どこへ行っても感じたことは、街並みがとても綺麗だということです。伝統的な石造りの家が並んでいるそれらの街はとても居心地がよくて、そこに住みたいとも思いました。

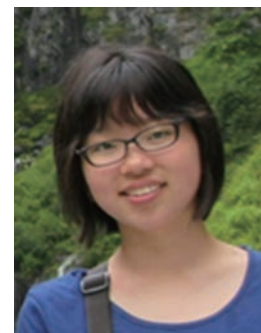
パートナーと一緒に過ごす時間が増えるにつれてお互いにより気をつかわずに接することができるようになり、言葉の壁を感じずに英語でコミュニケーションを取れるようになっていきました。特に自分が英語で何かを相手に伝えたいときは、文法などをあまり気にすることなくどんどん話すことが大切なんだと感じました。



ひらやま まさし さん
平山 雅士 さん
(平成 28 年度派遣生徒)

私は中学生の時、友人に誘われてこの高校生交流事業に応募しました。受け入れまでの準備期間は、期待と不安でいっぱいでした。私は、英語力に自信がなく、初めのうちはパートナーとあまり積極的に話すことができませんでした。それでも自分の言いたいことが伝わったときは嬉しさがかみ上げ、コミュニケーションの楽しさを実感することができました。

グローバル社会が進む中で、自分の国とは異なる他国の学生と交流し、このような経験をするのができ、とても感謝しています。この体験を通して、文化のあり方だけでなく、英語への向き合い方も見直すことができました。これまでは英語を単なる科目の一つとして学習していましたが、これからは、「コミュニケーションツール」として使いこなすことができるよう、実践のための学習をしていきたいと思っています。



くりはら まこ さん
栗原 茉莉 さん
(平成 28 年度受入生徒)

平成 28 年度 中学生交流事業



ウエストコビナ市での体験

1日目

ロサンゼルス空港着
ウェルカムパーティー



ウエストコビナ市に来たよ

2日目

ウエストコビナ市役所表敬訪問
警察署・消防署見学
クラフト・運動会



コダックシアター

3日目

The Grove 見学
ハリウッド見学

4日目

カリフォルニアサイエンス
センター見学
ナチュラリヒストリー
ミュージアム見学
クラフト



スペースシャトル!

5日目

ナッツベリーファーム見学
大リーグ観戦
(エンジェルス VS オリオールズ)



ホストファミリーでは
こんな感じ♪

6・7日目

ホストファミリーと自由行動
フェアウェルパーティー



フェアウェルパーティー

8日目

お別れセレモニー
ロサンゼルス空港発



お別れ



大田原市での体験

1日目

成田空港着
ホストファミリーと対面



ようこそ大田原市へ

2日目

市内観光 (那須与一伝承館・
黒羽観光築・黒羽芭蕉の館・
雲巖寺)
ウェルカムパーティー



与一まつり

3日目

クラフト
那須観光 (殺生石・足湯・
藤城清治美術館)



流し踊り

4・5日目

与一まつり参加
ホストファミリーと自由行動



流しそうめん

6日目

日光見学 (輪王寺・東照宮・
江戸ワンダーランド)
フェアウェルパーティー



茶道体験

7日目

流しそうめん体験
和菓子作り・茶道体験

8日目

座禅体験 (大雄寺)
お別れセレモニー
成田空港発



お別れ

初めてホストファミリーと出会ったとき、自分の考えを英語で伝えるのは簡単ではないことを痛感しました。初対面であるための緊張と英語を文法上正しく伝えようと考えるにすぎませんでした。「このままではいけない、工夫しなければ。」私は、とにかく相手に伝えることを第一に考えて、一生懸命ジェスチャーをついたり、簡単な単語を繋げたりして話すようにしてみました。すると、相手も私の話すことを理解してくれるようになり、伝えたいことが通じた時には、本当にうれしかったのです。工夫して会話をすることで、どんどんコミュニケーションが取れるようになり、ホストファミリーとの心の距離が近くなるのを感じました。文化や言葉の違いがあっても、心を通わせることが大切だということを学びました。

小池 穂菜美さん
平成26年度派遣生徒

狩野了輔さん
平成28年度受入生徒

17歳のケビンが僕の家にホームステイしました。ホームステイの受け入れが決まってから、英語でどう会話すればいいか心配でしたが、ケビンや他の生徒たちに会い、ともに行動する中で単語が聞き取れるようになり、会話も出来るようになりました。ケビンと家で過ごす時は、今日はどうだったかなどの何気ない会話をしたり、テレビゲームと一緒に遊んだりしましたが、一番盛り上がったのは「ポケモンGO」の話をしたときでした。日本にしかないポケモンを家族みんなが探したことはとても楽しい思い出になりました。

この体験を通して、もっと英語を勉強したい、アメリカに行ってみたい、英語を使った仕事をしてみたいと思うようになりました。この貴重な体験を今後の生活に活かしていきたいと思っています。